



発行 日本共産党  
春日部市委員会  
春日部市中央  
7-10-9  
電話 736-9933  
FAX 736-9991

9月定例  
議会開会

### 令和2年度一般会計決算

# 32億1338万円の繰越

23日(月)、9月定例議会が開会します。会期は9月21日(火)までの30日間です。

市長提案は、条例の制定1件、契約の変更1件、未処分利益剰余金の処分2件、令和2年度決算9件、補正予算8件の合計21件です。

積立金(貯金) 99億円  
財政調整基金37億円

令和2年度の一般会計決算の歳入総額は約1049億円で、歳出は約1009億円で、す。この中には1人10万円の特別定額給付金約233億円が含まれています。差し引き

約40億円ですが、今年度に繰越すべき財源である約8億円を除くと実質的な繰越金は約32億円となりました。(黒字)

普通会計の積立金(貯金)は約99億円です。そのうち財政調整基金(市が自由に使える貯金)は約32億円で、昨年度に比べて2.8億円増加しました。さらに令和3年度一般会計補正予算で約5億円積み立てるので約37億円となります。市民の切実な要求に応える財源は十分あります。

補正予算27.9億円  
ワクチン接種事業8.6億円

令和3年度一般会計補正予算(第6号)27.9億円の主な内容は、左記の通りです。

ワクチン接種事業では、今回の補正予算で市民全員分が終了します。(全額国庫負担)

#### 3年度補正予算(第6号)

- ・ワクチン接種事業 8億6091万円
- ・財政調整基金積立 5億1000万円
- ・中央通り線土地購入 3億9508万円
- ・武里内牧線土地購入 1億3488万円
- ・小学校防球ネット支柱修繕(15校) 宮川小プール修繕等 1億3434万円
- ・中学校防球ネット支柱修繕(9校)等 1億6080万円
- ・連続立体交差土地購入等 8722万円

請願は「国保税の子どもの均等割減免」など4件

請願は、次の4件で日本共産党議員団紹介です。

「小中学校のトイレに生理用品の設置を求める請願」(新日本婦人の会春日部支部)、生活保護を含む住民税非課税

世帯に一世帯1か月1万円の電気代補助の支給を求める請願(かすかべ生活と健康を守る会)、「子育て世帯の経済的負担軽減のために国民健康保険税の子どもの均等割の減免を求める請願」(春日部社会保障をよくする会)、「消費税を一定期間5%にする意見書の提出を求める請願」(消費税の廃止を求める春日部地域連絡会)

#### 9月議会の日程

- 8月23日 開会、議案の上程
- 8月27日・30・31日、9月1日 議案の本会議質疑
- 9月3・6日 建設・教育環境委員会
- 9月7・8日 総務・厚生福祉委員会
- 9月10・13・15・16日 市政に対する一般質問
- 9月21日 討論・採決、閉会

傍聴はコロナ対策で自粛をお願いしています。本会議はインターネットでご覧いただけます。



# 入所施設なければ必要な障害者暮せない

## 総合振興計画・SDGsと矛盾

春日部市には、障害者の入所施設が1カ所ありません。隣接している自治体で同様でないのは宮代町だけです。

その結果、市外の施設に入所している人は、県内施設に164人、県外施設に29人（うち関東以外のごとくに6人）合計193人で、市内で暮せない状況です（2021年2月1日現在）。

**入所希望者には「選べないまち」**

春日部市第二次総合振興計画では、まちの将来像を「つながる にぎわう すまいるシティ 春日部」と定め、たくさんの方の明るい笑顔が輝き、いきいきと暮らしている人々と魅力的なまちを行き交う多くの人で、活気にあふれ、だけれども「住んでみたい、住み

続けたい」と思う、だから「選ばれるまち」を築いていくことを基本理念としています。

第二次総合振興計画策定作業時から日本共産党市議団は「障害者入所施設建設を計画にしっかり位置付けなければ、入所希望者ははじめから春日部で暮す選択肢さえない状況です」と指摘し、入所施設建設の計画を持つべきと再三求めてきました。

**SDGsは誰も取り残さない**

春日部市はSDGs推進都市の認定を受けています。SDGs（持続可能な開発目標）とは、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載さ

れた2016年から2030年までの国際目標です。

SDGsの17のゴールの中には、③すべての人に健康と福祉を、⑪住み続けられるまちづくりを、などが掲げられ、活動原則の中には、「誰一人取り残さない」包摂的（ほうせつてき）な取り組みを行う」としてあります。

市の役割として、①理念・意義・必要性を明示する「地域の先導役」、②市自らによる「率先した実践行動」を明示しており、本気でSDGsを推進しようとするれば、障害者入所施設の建設は避けて通れない矛盾となります。

**県内施設は今も整備進む**

この間、国は障害者入所施設の新規建設を基本的に認めないとする方針をとっています。しかし、埼玉県は2010年より入所施設の整備方針を変更し、必要な入所施設を整

備することとしており、2010年以降に整備された入所施設は8施設あります。（左表）

市は、入所施設の有効性は認めています。国の資金援助が民間に限定されているため、民間から相談があった際は適切に対応するとしています。しかし、民間法人なども建設には莫大な資金が必要となり経営を圧迫します。

市は、独自でも入所施設を建設する方針を決断するべきです。

2010年以降に整備された入所施設

開所年月	施設名	所在地
2011年	大樹の里	所沢市
2011年	きずなの里	さいたま市
2014年	光 福	川口市
2017年	大樹の丘	所沢市
2019年	ゆずり葉	さいたま市
2019年	春陽の里	深谷市
2019年	は れ	川口市
2021年	大樹の華	入間市

**休日当番医** 市立医療センターTEL735-1261(夜間毎日、土・日・祝日)内・外科系 小児救急電話相談#7119  
 8月22日(日) 守田内科医院(内科系)南2-6-24 ☎737-6300 神田医院(小児科系)上蛭田127-1 ☎754-0854 ようこ皮フ科(外科系)大沼2-62-24☎612-3555  
 8月29日(日) さだまつ眼科クリニック(外科系)谷原新田2213-1 ☎731-5040 武井医院(内科系)粕壁1-4-8 ☎752-2019 一ノ割クリニック(小児科系)備後東1-28-22 ☎731-1771